

令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・
指定都市名

神奈川県

学校名

神奈川県立みどり養護学校

人権課題

子ども

対象学年・
取り扱った教科等

高等部、分教室、LHR等

目標・人権教育のねらい

・生徒自身が学校生活を振り返ることで、いじめに関連する行為の有無を把握し、適切な人間関係形成に向けた指導・支援を行う。

実施した内容

・本校高等部および分教室の生徒全員を対象に、アンケートを実施した。
・校内組織である「いじめ対策委員会」にて、昨年度からの引継ぎ事項や今年度の結果を踏まえた現在の状況把握、今後の課題と対応等を協議した。
・いじめ防止に向け、どのような言動が適切か考える授業を実施した。

工夫した点

・文字だけではなくイラストを添えることで、生徒が回答を選択しやすいアンケート用紙にした。
・2学期の始業式では、校長が視覚的にわかりやすいイラスト等を用いて、「いじめ防止」について講話をした。
・授業内容をまとめた掲示物を作成し、教室内や廊下等に掲示した。

他教科との
関連

・学んだ内容を全ての教育活動を通じて、日常の生活の仕方や、人を大切に
する心の育成につなげる。

令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・
指定都市名

神奈川県

学校名

神奈川県立みどり養護学校

人権課題

障害者

対象学年・
取り扱った教科等

全学部「日常生活の指導」・
「課題別学習」・「作業」

目標・人権教育のねらい

- ・自己理解を深め、他者と協力することで得られる喜びや勇気を感じ、社会で共に生きようとする力を育成する。

実施した内容

- ・自己を認め、挨拶や自己表現する機会をできるだけつくとともに、相手を理解する意欲や態度でコミュニケーションをうまくとれるよう工夫した。
- ・「作業」等で自分の役割を理解し、他の仲間と協力して取り組むことで、コミュニケーション能力の重要性について、理解することができるようにし、できたときには誉めることで互いのよさを確認できるようにした。

工夫した点

- ・教材作成の際には、手順書および見本を職員全体で共有し、効率的かつ質の保てる職員体制を作った。
- ・密を避け、机の間隔を広く確保し、机上にはパーテーションを置くなど対面での活動ができるようにした。

他教科との
関連

- ・学んだ内容を他の教科の指導に生かせるよう、職員のなかで情報を共有して、生徒がつながりのある指導であることが理解できるようにした。

令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・
指定都市名

神奈川県

学校名

神奈川県立みどり養護学校

人権課題

同和問題

対象学年・
取り扱った教科等

高等部「総合的な探究の時間」

目標・人権教育のねらい

- ・自己理解を深め、他者と協力することで得られる喜びや勇気を感じ、社会で共に生きようとする力を育成する。

実施した内容

- ・職員が同和団体による講演、協議を通じて、差別の実態やその背景を知り、児童・生徒を支援するために指導方法等に役立てた。
- ・授業を通じて、身近なところで差別は起こり得るものであり、自らも差別する側に回るかもしれないことを知らせ、差別から身を守るために必要なことについて具体的に示し、考えさせるようにした。

工夫した点

- ・多くの生徒が利用しているスマートフォンのアプリケーションソフトの使用における書き込みなど、身近な例をもって“差別”することについての実感がもてるようにし、その危険性を感じさせ、使用の際に気をつけるべきことなどを伝え、考えさせるようにした。

他教科との
関連

- ・学んだ内容を日常生活の指導に生かし、将来にわたって自らを守り、また、加害者になることがないようにするなどについて、全ての教科等でも指導した。

令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・
指定都市名

神奈川県

学校名

神奈川県立みどり養護学校

人権課題

外国人

対象学年・
取り扱った教科等分教室1~3年
総合的な探究の時間

目標・人権教育のねらい

- ・他の国の言葉や文化に触れる機会を設定し、多様性に対する生徒の理解を深める。
- ・ICTを活用したオンラインによる双方向授業実践を試みる。

実施した内容

- ・元JICA海外協力隊の方を講師とし、「外国人にとって本当に必要なコミュニケーションとは？」をテーマにオンライン授業を実施。
- ・3密を避け、学年ごとに教室を分けた。
- ・各教室と講師をオンラインでつなぎ、双方向でのやり取りを行った。

工夫した点

- ・事前にアンケートを実施し、生徒が記入した内容を講師が確認しておくことで、当日スムーズなやり取りを行うことができた。
- ・ロールプレイを行うことで、生徒がより具体的にイメージできるように促すことができた。

他教科との
関連

- ・社会科で、世界の食と挨拶の授業を実施。
- ・教科「職業」にて、誰にでも分かりやすいコミュニケーションの取り方についての授業を実施。

令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・
指定都市名

神奈川県

学校名

神奈川県立みどり養護学校

人権課題

インターネットによる人権侵害

対象学年・
取り扱った教科等高等部1~3年、生活単元学習
分教室1~3年、総合的な探究の時間

目標・人権教育のねらい

- ・高等部、分教室卒業後の自立と社会参加に向けて、スマートフォンや携帯電話等の安全な使い方とマナーに関する理解を深める。
- ・インターネット利用に伴う人権侵害について知り、SNS等によるコミュニケーションの方法や注意点を学び、被害者にも加害者にもならない知識と技術を学び、情報モラルを身に付ける。

実施した内容

- ・NTTドコモによるオンライン授業の実施。
- ・肖像権や個人情報等の人権侵害について、ゲーム等の課金やネット犯罪等についてなどの内容を実施。

工夫した点

- ・少人数のグループごとに教室を分け、生徒が集中できる環境を整えた。
- ・授業前に担当教員と講師が綿密に打ち合わせを行うことで、より生徒に興味を持たせることができた。
- ・講師と相談の上、シンプルで分かりやすい教材を選択することで、生徒たちの理解を深めることができた。

他教科との
関連

- ・高等部、分教室共に、総合的な探究の時間で、社会人に向かうために大切なことを学ぶ授業を実施。

令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・
指定都市名

神奈川県

学校名

神奈川県立みどり養護学校

人権課題

北朝鮮当局による拉致問題等

対象学年・
取り扱った教科等

高等部1～3年、生活単元学習

目標・人権教育のねらい

・児童・生徒が「大切な人が突然いなくなったら」を考えることで拉致問題について考えるきっかけとする。

実施した内容

・教員がアニメ「めぐみ」を視聴し、拉致問題に関する知識を深めたうえで、児童・生徒が「大切な人が突然いなくなったら」について考え、そうした事件がかつて日本で起きて今なお戻ってきていない人がいることを理解する。

工夫した点

・ここで学んだ内容は、人の大切さに通じるもっとも大切であることを強調することで、難しい内容で理解の差はあっても、大事な事は何かは示した。

他教科との
関連

・学んだ内容を全ての教育活動を通じて、日常の生活の仕方や、人を大切に
する心の育成につなげる。